

報道発表資料（令和7年5月16日）

報道関係者 各位

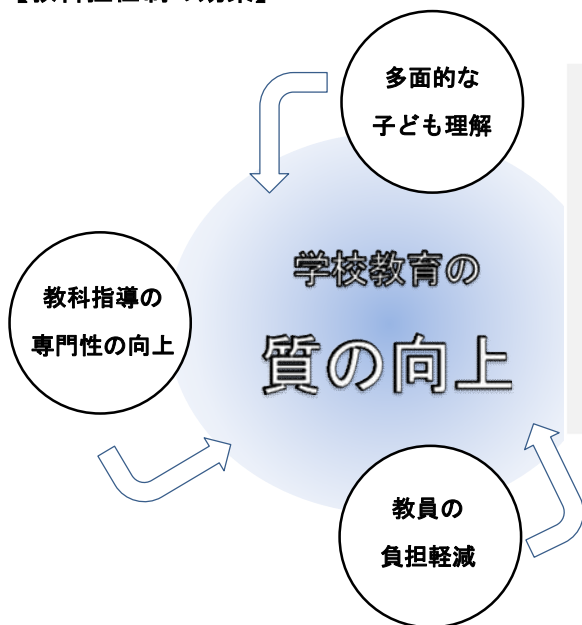
教科担任制導入が変える小学校の現場について

概要 今年度から、高石市内の全小学校において、学級担任がすべての教科指導を担当するのではなく、学級担任・学年所属教員・専科教員等により、一部担当教科を分担して指導、評価を行う「教科担任制」を導入しております。

教科担任制で期待される効果として、専門性の向上による「学習指導の充実」、複数の教員が指導にあたることによる「児童の多面的な理解」、教科担任制になれることによる「中1ギャップの軽減」、担当時間数が減ることによる「教員の負担軽減」が挙げられます。

各校で実施している教科担任制の体制・成果・課題を把握、情報共有し、研究を進め、児童・生徒のさらなる学力向上、理解につながるようにしてまいります。

【教科担任制の効果】



【担当教科と時間数の例】

<5年4クラス、6年3クラス、担任外1、専科教員1(理科)>

B小学校のケース	3年 3クラス	4年 4クラス	5年 1・2組	5年 3・4組	6年1組	6年2組	6年3組
学級担任	担任共通の教科		約25h	約25h	約25h	約25h	約25h
	2クラスずつの担任がグループとなり学級担任でそれぞれ交換する教科 (例: 5-1担任が5-1-3の体育、5-2担任が5-2-4の体育を担当)		国(書写除く) 社算図家道総特	国(書写除く) 社算図家道総特	国算外道総特	国算外道総特	国算外道総特
			体育 約3h×2c		社会 3h×3c	体育 約3h×3c	
担任外専科	(校内体制で実施)		約3h×2c外国語+国(書写)			3h×3c	家庭+図工
合計	約22h (3・4年)約1.7h×7c		音楽		(5・6年)約1.4h×7c		
専科教員(府)	合計 21h		理科		(5・6年) 3h×7c		

各担任がそれぞれ交換する教科
(例: 6-1担任が全クラスの社会、6-2担任が全クラスの体育、6-3担任が全クラスの家庭科と図工をそれぞれ担当)

令和4年2月

大阪府教育庁市町村教育室小中学校課 資料より